

発達と老化の理解

担当教員 吉岡 久美

配当年次 1年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第2学期

授業形態 講義

単位数 2

【授業のねらい】

ヒトは時間の経過とともに変化していく。
 発達と老化の理解では、生殖機能から受精、その後の細胞の変化と成長過程を知り、成長と老化について、その様子を解剖生理学的に説明できることをねらいとする。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	受精と胎児の発生、成長を知る
2	出生と、そこに生じる危険による影響を理解する
3	人間の発達について、生涯発達の視点と発達の可塑性を知る
4	乳児期の発達と発達課題を理解する
5	幼児期の発達と発達課題を理解する
6	学童期から思春期の発達と発達課題を理解する
7	青年期・成人期から更年期の発達と発達課題を理解する
8	老年期とは何か、法律や制度も含めて理解する
9	老化のメカニズム（身体におこる変化）を知る
10	老年期の発達課題と適応理論を理解する
11	老化に伴う心肺機能の変化と日常生活への影響を理解する
12	老化に伴う筋・骨格系、腎・肝機能の変化と日常生活への影響を理解する
13	老化と感覚器系の変化と影響を理解する
14	老化に伴って起こりやすい疾患と生活上の影響を理解する
15	細胞の死と身体の変化を知る

【履修上の注意事項】

事前学習として、講義で示している単元のテキストを読んでもらうこと。
 事後学習では、講義中にとったノートをまとめなおすこと。

【評価方法】

筆記試験100%で評価する。

【テキスト】

人体の構造と機能「解剖生理学」 メディカ出版

【参考文献】

解剖生理学 医学書院
 こころとからだのしくみ 「発達と老化の理解」 メヂカルフレンド社、中央法規